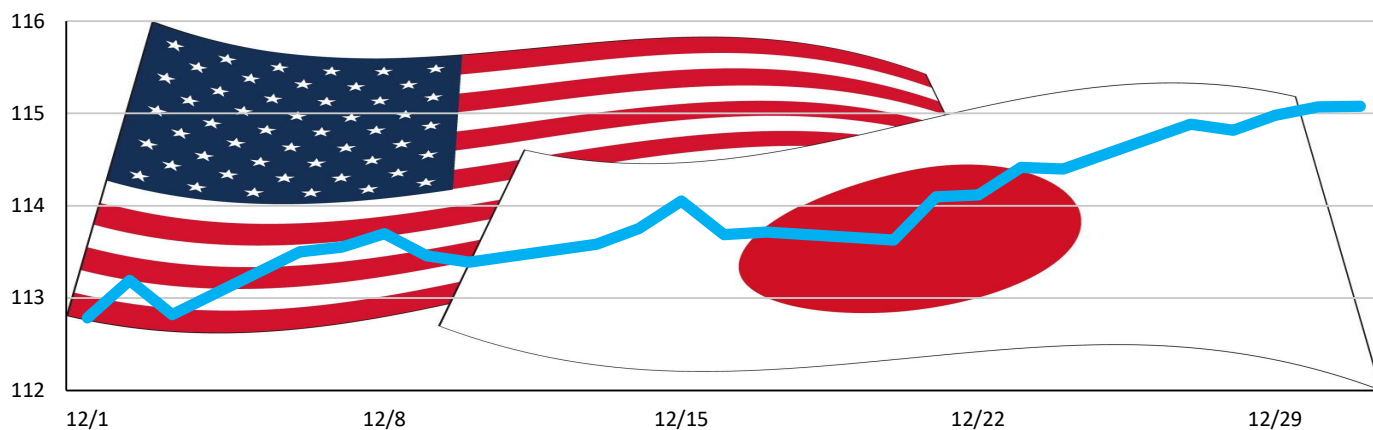


## MARKET REVIEW

**先月の振り返り:** 12月のドル円相場は112円半ば～115円前半で推移。オミクロン株感染拡大報道でリスク回避の動きが広がったが、これまでの変異株ほど深刻ではないと報じられると金融市場は落ち着きを取り戻した。その後は各国の金融政策発表を控えて小動きが続く中、注目だったFOMCで市場予想以上にタカ派の内容だったことでドル買いムードが高まったものの、欧米でオミクロン株感染者数が増加し続けていることが報じられ一進一退の動き。クリスマス休暇や年末を控えて薄商いとなる中、徐々に日米金融政策格差を背景としたドル買いが進行し、115円台を回復して2021年を終えた。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



## EXTRA VISION

**今後の展開:** オミクロン株は従来の変異株ほど致死率は高くないと見られており、マーケットの関心事は主要国の金融政策に移っている。金利引き上げが予想されている米国とゼロ金利政策が継続している日本という日米金利差を意識したドル買いとなっており、日本が金融緩和政策を脱却するまで積極的に円買いが進むとは考えにくい。今後もドル高に対応できるポジションを構築していきたいが、突発的な動きにも注意を払っておきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
1 / 18 (火)	** : **	J P	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
1 / 27 (木)	4 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
1 / 27 (木)	22 : 30	US	米GDP速報値	☆☆☆☆
2 / 3 (木)	21 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
2 / 3 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
2 / 4 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
2 / 10 (木)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。